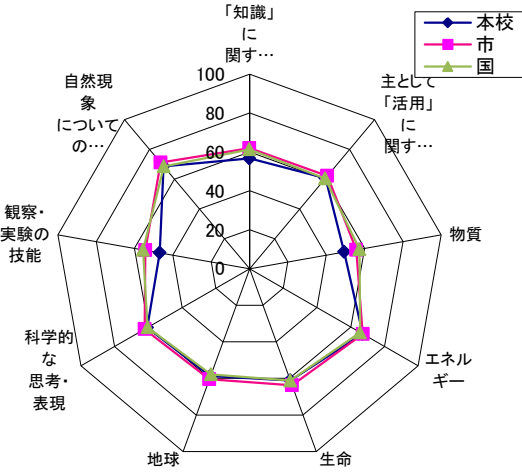


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	56.6	61.9	61.3
	主として「活用」に関する問題	60.7	62.2	60.5
区分等	物質	49.4	55.7	57.4
	エネルギー	67.1	67.2	65.6
	生命	61.1	63.8	61.2
	地球	58.8	60.5	57.8
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	60.7	62.2	60.5
	観察・実験の技能	46.8	54.4	55.5
	自然現象についての知識・理解	68.7	71.1	68.6



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思うか」に対する肯定的回答は57.1%で、全国平均を12.7ポイント上回っている。
○「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えるか」に対する肯定的回答は48.2%で、全国平均を10.8ポイント上回っている。
●「理科の授業で、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしているか」に対する肯定的回答は13.4%で、全国平均を9.3ポイント下回っている。そこで、自分の考えをまとめ、ペアやグループ、全体で意見を共有する場を多く設定していく。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質	○水蒸気の状態の説明としてあてはまるものを選ぶ問題の正答率は85.6%で、全国平均を3.7ポイント上回っている。 ●示された器具(メスシリンダー)の名称を書く問題の正答率は46.8%で、全国平均を23.9ポイント下回っている。	・実験を行う際には、器具の名称を使って話し合ったり、説明したりする活動を多く取り入れていくことで、実用的な知識として浸透するようにしていく。また、実験準備の際も、教師が準備したものを持っていくだけではなく、必要なものを児童が選んで持っていく場も設定していく。
エネルギー	○振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用できるかを見る問題の正答率は69.4%で、全国平均を8.2ポイント上回っている。 ●熱膨張が小さい金属について、グラフをもとに考察して分析した内容を記述できるかを見る問題の正答率は55%で、全国平均を7.7ポイント下回っている。	・観察、実験の結果をもとに事実とそこから自分が判断したことの両方を示す必要があるため、判断した内容を記述するだけでなく、その判断に至った根拠や理由を客観的に表現するよう指導していく。
生命	○インゲン豆とひまわりの成長の様子や日光の当たり方から適した栽培場所を選び、選んだわけを書く問題の正答率は40.5%で、全国平均を7.5ポイント上回っている。 ●生物の成長に必要な養分の取り方について、仲間分けした観点を選ぶ問題の正答率は75.7%で、全国平均を5.9ポイント下回っている。	・それぞれの生物の成長の過程について知るために、卵から生まれた子メダカの腹がだんだん小さくなることとインゲン豆の使用が発芽後にしぼんでいくことから、含まれていた養分が成長に使われたという共通点を見つたり、人間の場合との相違点を捉えたりするよう指導していく。
地球	○星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ問題の正答率は、63.1%で、全国平均を7.8ポイント上回っている。 ●地面に水をまいたときの地面の様子と温度変化について、実験結果から言えることを選ぶ問題の正答率は、79.3%で、4.9ポイント下回っている。	・授業中の実験から得られたデータから分析することはもちろん、児童の生活経験によせて考えさせることで、より具体的にこの事象について理解させていく。また、そのことについて、言葉でまとめたり説明したりする活動を取り入れていく。